

23年目の葉山

村山市立葉山中学校
学校だより
第9号
令和8年8月25日

校長 早坂 智

夏休み明け授業開始

規則正しい生活で臨もう

7月25日（土）から8月23日（日）までの夏休みも終わり、8月24日（月）から授業が始まりました。9月2日（水）には、学校の行事である合唱デーが開催されます。今年度のテーマは、「響 ～造り出せ 歌楽変化～」です。昨年度に続き、今年度も村山市民会館を会場に、各クラスの合唱や全校合唱があります。どの学年も合唱デーに向けて、短い練習期間になりますが「合唱の葉山」らしく練習に大いに励んでほしいと思います。また、しばらく暑さは続いていくと思われますが、夏休み気分から抜け出し、暑さに負けることなく毎日の学校生活を各自しっかり送っていきましょう。

2年保健体育 心肺蘇生法講習会を終えて

7月23日（木）に保健体育科の授業内容に合わせて、心肺蘇生法の講習会を、2年生の生徒を対象に実施しました。昨年度から2年生の保健体育科の授業で行っているもので、人の命に関わる大切な学びであることから、村山市消防署の方々に講師をお願いし、実施してもらっています。小学校でも学んでいることと思いますが、心臓マッサージのやり方やAEDの使い方等について、各グループに分かれて実技を通して理解を深めました。

※授業後の生徒の感想より

【今日の授業を振り返って】 伊豆倉 柊生さん

今日の心肺蘇生法講習会で心臓マッサージは、強くすること、深さは5cmぐらいですることや、位置は胸あたりですることが分かりました。人が倒れていた時にすることの順番がよく分かりました。僕はまだ人が倒れているのを見たことがないので、もし見かけたら自分から心臓マッサージをしようと思いました。今日は教えて下さりありがとうございました。

【今日の授業を振り返って】 軽部 百葉さん

今日の心肺蘇生法を体験して、人の命を救うことが大切だと思いました。実際にやってみて、胸骨の上を2つの手で合わせて押しても、すごく硬くて難しかったです。AEDは、7つのことを頭に入れてやり方や場所の確認ができたので良かったです。もし、人が倒れていたら、今回、習ったことを生かして、落ち着いて、人の命を救いたいです。今日は本当にありがとうございました。



夏休み中の生徒ボランティア活動について

夏休み中、各種事業のボランティアや住んでいる地域におけるボランティア活動に取り組んでくれた葉山中生がたくさんいます。夏休みにしかできないことをということで、自分ができることを考え、そして、実行してくれました。生徒会活動の取組として、「あいさつ・合唱・ボランティア」の3つがあります。その中の1つ、ボランティア活動に積極的に取り組む葉山中生の姿が見られ、大変うれしく思っています。これからも、地域や社会のために貢献できる葉山中生であってほしいと思います。

夏休み中に行われた各講座を参観して

私ごとになりますが、夏休み中に開催された各講座等に向かい、子どもたちの学ぶ姿や頑張っている様子を参観させていただきました。例えば、北村山視聴覚教育センターで開催された講演会では、JAXA 宇宙探査イノベーションハブ所属で米沢市出身の宮澤 優 氏を講師に、演題「宇宙開発の現在と将来 ～月探査を中心に～」のもと、月面探査機である「SLIM」の功績等についての講演を参観させていただきました。参加している子どもたちは集中して講師の先生の話聞き、その後、たくさん質問をする姿が見られました。講師の宮澤 優先生からは、高校がSSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定校だったこともあり、高校2年生の時に筑波宇宙センターに行く機会があり、そこで宇宙開発という仕事に触れ、今の仕事につながったこと等をお聞きしました。子どもたちへのメッセージとして、「知らないことや体験していないことは、自分の将来の夢として考えることはできない。だから、たくさんを知ったり、たくさん体験をしたりしてほしい」という言葉をいただいたところです。参加した子どもたちからは、「宇宙はどれくらい広いのですか？」といった宇宙に関する質問がたくさん出されました。この講座を受講して、将来、宇宙開発に関わりたいという夢を持った子どもたちがたくさん出てくることを期待したいと思います。また、村山市教育委員会の事業である小学生を対象にした理科講座も参観させていただきました。県サイエンスインストラクターの石澤 強 氏を講師として、静電気や空気砲に関する実験等に興味を持ちながら取り組む児童の皆さんを見ることができました。さらに、同様に中学生を対象にした「わくわく数学講座」も参観させていただきました。講師に山形大学大学院教育実践研究科教授の高山 琢磨 氏を迎え、海外の建物（ビル）を工作用紙で製作する活動を見ることができました。工作用紙に建物（ビル）の展開図を考えて描き、それをカッターできれいに切って組み立てていくと、実際の建物と同じ形の物が出来上がりました。この講座には、葉山中の生徒も参加をしていましたが、大学の先生から直接教わるということはなかなか無いことですし、授業とは違った学びを体験することで、数学への興味・関心もさらに高まったのではないかと思います。

私たちの身のまわりには、たくさんの学びであふれています。これからも、自分の興味や関心があるものをはじめ、様々なことについて学んでいってほしいと思います。それが、自分の将来の夢につながっていくかも知れません。

9月・10月は合唱デーや運動会など、大きな学校行事があるので見通しを持って取り組んでいきましょう。